

生きていく上で欠かすことができない「食」を未来につなぐ、私たちのまちの新規就農者や農業後継者などを紹介します。

霧島の農業をミライへ



中塚 亜希子さん(39) 福岡県出身、国分在住。

就農3年目。霧島Organic Blueberry代表。

営農類型：果樹 経営作目：ブルーベリー 営農面積：10a



@KIRISHIMA.BLUEBERRY

霧島Organic Blueberryの
Instagramはこちら



溝

辺町崎森の十三塚史跡公園近くで、有機栽培のブルーベリー農園を営む中塚亜希子さん(39)は、現役の客室乗務員でもある兼業農家です。

中塚さんとブルーベリーとの出会いは、コロナ下だった7年前。「時間に余裕ができて、ふと植物を育ててみたいと、さまざまな苗木を庭に植えたところ、唯一生き残ったのがブルーベリーだったんです」と笑います。育てやすさや品種の多さなど、知るほどに魅力を感じ、もともとたくさん種類の広い場所で育てたい、せっかくなら観光農園にしてみんなに食べてもらいたい、畑探しから始めました。畑の取得から植樹までは数年かかり「何度も壁にぶつかりましたが、多くの人に支えてもらいました」と振り返ります。

2年前に植えたブルーベリーは、今年初めての収穫を迎えました。「カフェ開設の他に会員制の植樹体験も企画中です。将来的には自然を楽しめる農泊施設を作りたい」と夢を膨らませています。

ブルーベリーのかき氷はいかが

7月から、農園内でブルーベリーカフェをオープン。有機栽培のブルーベリーを使ったかき氷やソーダ、オーガニックアイスコーヒーなどのほか、生ブルーベリー、冷凍ブルーベリーも販売しています。事前予約制のた

め、営業日や予約方法など詳細は公式Instagramでご確認ください。「風が吹き抜ける見晴らしの良い畑で、心地よい時間を過ごしていただけたら。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています」

